

**トンネルハウス栽培におけるモモ「はつおとめ」の品種特性**

モモ「はつおとめ」は、成熟日数が68日程度で、「はなよめ」より14日程度早く収穫が可能な極早生品種である。1果重は155g程度で、糖度は高く食味は良い。また、健全果率が高く、着色も良好である。

農業研究センター球磨農業研究所 (担当者: 中尾郁美)

**研究のねらい**

本県のモモ栽培は、「はなよめ」「日川白鳳」といった早生品種が主体であるが、成熟期が梅雨期と重なるため糖度が低下する等の問題が多い。降雨を避けるために導入されたトンネルハウス栽培においても、上記の2品種に偏っており、作業効率等の低下を招いている。そこで、「はなよめ」より収穫期の早い極早生の優良品種を選定する。

**研究の成果**

## &lt;来歴&gt;

モモ「はつおとめ」は、福島県果樹試験場において、母:「倉方早生」×父:「ちよひめ」の交雑実生により育成された品種で、2003年に品種登録された。

1. 樹勢は中程度であり、開花期は「はなよめ」より3日程度遅い(表1)。
2. 成熟期は満開から約68日間で、収穫盛期は「はなよめ」より14日程度早く、「日川白鳳」より22日程度早い(表1)。
3. 果形は扁円形で、裂果がわずかにみられる(表1, 3)。「はなよめ」に比べ、1果重は155g程度と小さいが、平均糖度(Brix)は1程度高く、果皮の着色も良好である(表2)。
4. 「はなよめ」に比べ、核割れ果が少なく、健全果率が高い(表3)。
5. 通常の着果数より多い17果/m<sup>2</sup>着果させても、果実肥大に差はない(表4)。

**普及上の留意点**

1. 本品種は、外観、食味とも良好であるが、成熟期間が短いため、小玉になりやすい。そのため、摘蕾、早期適果が必須の作業となる。
2. 直射日光に当たった部分の果実に軽微の裂果がみられるため、摘果では葉に隠れる果実を残すように努める。
3. 本品種は、露地栽培では他の早生品種の加温栽培と収穫・出荷期が重なることから、施設栽培での導入を推進する。

表 1 トンネルハウス栽培での樹体生育及び果実特性

品種	樹勢	花粉の有無	生理的落果	果形	果肉色	裂果	満開日 (月/日)	収穫期(月/日)		成熟日数 (日間)
								始	盛	
はつおとめ	中	有	少	扁円	乳白	微	3/21	5/24	5/28	68
はなよめ (対照)	中	有	少	円	乳白	無	3/18	6/5	6/11	85
日川白鳳 (対照)	中	有	少	扁円	乳白	無	3/24	6/15	6/19	87

注) 2010年～2013年までの平均値

表 2 トンネルハウス栽培での果実品質

品種	1果重 (g)	糖度 (Brix)	硬度 (kg)	着色
はつおとめ	155	11.2	1.8	4.1
はなよめ (対照)	211	10.1	1.9	3.6

注 1) 2012年～2013年の平均値

注 2) 樹齢: 「はつおとめ」 8～9年生、「はなよめ」 11～12年生

注 3) 着色: 5 (良)～1 (不良) までの5段階評価

表 3 選果実績 (個数割合)

品種	健全果 (%)	不良果 (%)										
		裂果	奇形	病害	虫害	核割	黄熟	小玉	圧傷	傷果	にえ	他
はつおとめ	72.1	6.2	0.9	0.3	0.0	4.7	6.2	4.7	3.8	0.3	0.0	0.0
はなよめ (対照)	60.9	0.2	3.3	0.5	1.6	16.4	10.7	4.6	1.4	0.5	0.0	0.0

注) 2012年、2013年の平均値

表 4 「はつおとめ」における摘果程度の違いによる果実品質 (2013年)

摘果程度	1果重 (g)	糖度 (Brix)	硬度 (kg)	着色
14果/m <sup>2</sup>	166	12.4	1.8	4.4
17果/m <sup>2</sup>	162	11.7	1.7	4.3



写真 1 「はつおとめ」の着果状況



写真 2 「はつおとめ」の果実